第２節　職員の転勤に対する意識等

1　アンケート方法、回答状況

職員の転勤に対する意識等を把握するため、令和７年12月から同８年１月にかけて、一般職の国家公務員（常勤職員）約28万人に対して、無記名によるＷｅｂアンケート（以下「アンケート」という。）を実施した。

今回のアンケートに当たっては、回答者である職員の属性として、年齢、性別、本府省・地方機関別、採用試験の種類、家族構成、転勤の経験回数等を把握することとした。

一部未回答のものなどを除き、有効回答数は、107,662であった。

有効回答者の属性別の内訳は、図２－１から図２－９までのとおりであり、転勤を１回以上経験した職員の割合は７割を超え、３回以上転勤した職員は５割弱となっている（図２－９）。なお、割合については、小数点第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0とならない場合がある。

図2-1　年齢別回答者内訳

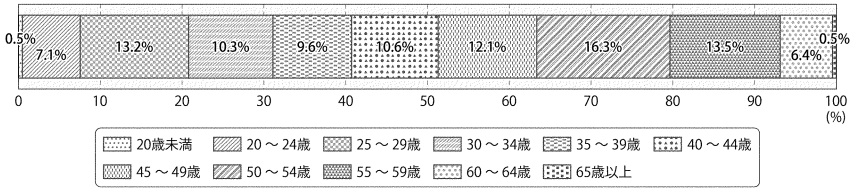


図2-2　性別回答者内訳

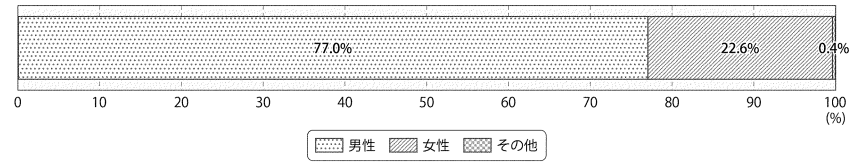


図2-3　本府省、地方機関別回答者内訳

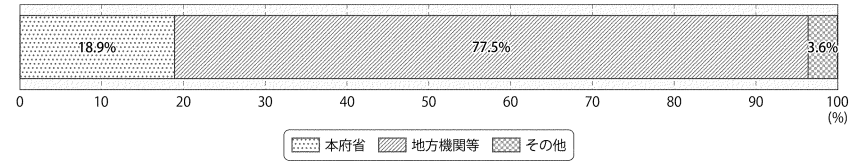


図2-4　採用試験の種類別回答者内訳

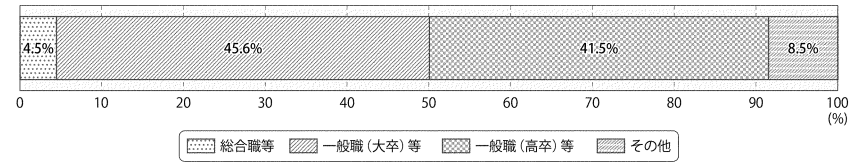


図2-5　家族構成別回答者内訳

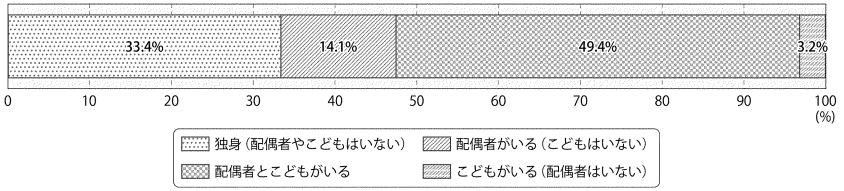


図2-6　配偶者の就業の有無別回答者内訳（「配偶者がいる」と「配偶者とこどもがいる」を選んだ者への質問）

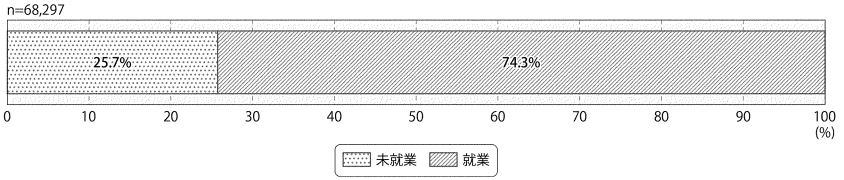


図2-7　こどもの状況別回答者内訳

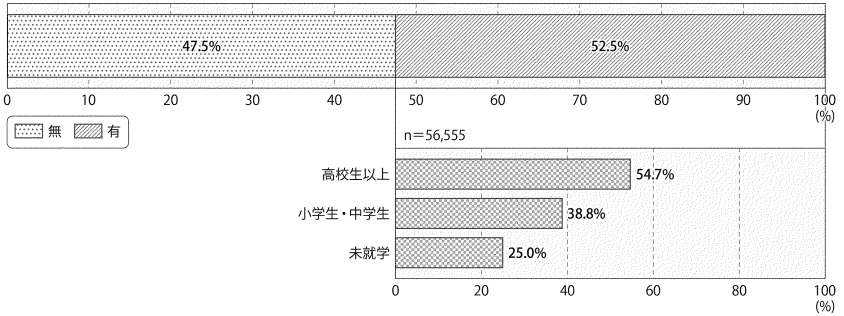


図2-8　介護が必要な親族の有無別回答者内訳

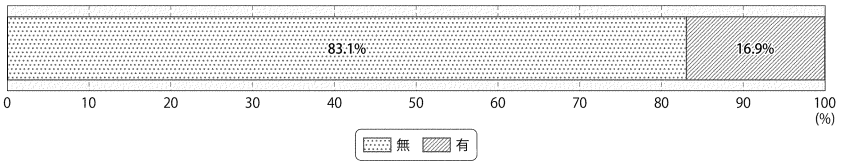


図2-9　転勤の経験回数別回答者内訳

